



海外へ行く前に確認！ 現地の状況と感染予防

感染症発生動向速報

(令和元年 51 週分・12 月 16 日～21 日)

(令和元年 第 52 週分は令和 2 年 1 月 8 日 (水) 発行予定です。)

《 インフォメーション 》

●海外へ渡航されるみなさまへ

まもなく年末年始の大型連休に突入します。この連休を利用して、海外に旅行される方も多いと思います。海外においては依然として、国内に存在しない感染症や国内よりも高い頻度で発生している感染症が報告されています。厚生労働省のホームページ (<https://www.forth.go.jp/destinations/index.html>) では、地域・国別に感染症の流行状況、予防策などについての情報提供が行われているので、渡航される方は出発前にぜひご確認ください(右図)。



渡航先や現地での行動によって異なりますが、食べ物や水を介した消化器系の感染症 (A 型肝炎、E 型肝炎、コレラ、赤痢、腸チフスなど) は感染する可能性が高いです。また、動物・蚊・マダニなどが媒介する感染症 (狂犬病、デング熱、重症熱性血小板減少症候群など) や性感染症 (エイズなど) が流行している地域もあります。旅行中は次のことに注意しましょう。

- 生水・氷・カットフルーツの入ったものを食べることは避けましょう。
- 食事は十分に火の通った信頼できるものを食べましょう。
- 動物は狂犬病ウイルスなどに、鳥類は鳥インフルエンザウイルスなどに感染していることがあります。またヒトコブラクダは MERS コロナウイルスに感染していることがあります。むやみに近寄ったり、触らないようにしましょう。
- 蚊・ダニに刺されないように、服装に注意し、必要があれば虫よけ剤を使うなどしましょう。
- 注射器の使い回しなどによる薬物使用や無防備な性交渉を控えましょう。

感染症には、潜伏期間 (感染してから発症するまでの期間) が数日から 1 週間以上と長いものもあり、渡航中あるいは帰国直後に症状がなくても、しばらくしてから具合が悪くなる場合があります。その際は、医療機関を受診し、渡航先、滞在期間、現地での飲食状況、職歴や活動内容、動物との接触の有無、ワクチン接種歴などについて伝えましょう。

《 全数報告の感染症 》

- 二類感染症 結核 2 件 (①70 歳代、女性 ②80 歳代、男性)
- 四類感染症 A 型肝炎 1 件 (第 50 週診断分：70 歳代、男性)
- レジオネラ症 2 件 (①50 歳代、男性、肺炎型 ②70 歳代、男性、肺炎型)
- 五類感染症 アメーバ赤痢 1 件 (第 49 週診断分：70 歳代、男性、腸管アメーバ症)
- 侵襲性肺炎球菌感染症 2 件 (①第 50 週診断分：70 歳代、男性 ②10 歳代、男性)
- 百日咳 2 件 (①10 歳未満、男性 ②40 歳代、女性)

《 定点報告の感染症 》

今週の県内上位 6 疾患		定点あたりの数	
順位	疾病名	今週 (増減)	先週
1 位	インフルエンザ	26.88 (↑)	24.04
2 位	感染性胃腸炎	14.03 (↑)	12.07
3 位	A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎	6.76 (↑)	6.52
4 位	手足口病	1.31 (↓)	1.66
5 位	咽頭結膜熱	0.79 (↑)	0.34
	伝染性紅斑	0.79 (↑)	0.62

この内容は以下のホームページでさらに詳しくご覧いただけます
アドレス <http://www.pref.toyama.jp/branches/1279/kansen/>

令和元年 12 月 25 日
富山県感染症情報センター
(0766-56-5431 直通)
(0766-56-8142 細菌部)
(0766-56-8143 ウイルス部)

○感染症発生動向調査報告状況（令和元年第51週 令和元年12月16日～令和元年12月22日）

分類	疾患	今週報告分（第51週）						累積報告数					
		新川	中部	高岡	砺波	富山市	計	新川	中部	高岡	砺波	富山市	計
二類感染症	結核			1		1	2	26	12	57	28	53	176
三類感染症	細菌性赤痢								1			1	2
	腸管出血性大腸菌感染症								3	8	6	14	31
四類感染症	E型肝炎							3		3		1	7
	A型肝炎							2				1	3
	つつが虫病							2					2
	デング熱											1	1
	レジオネラ症					2	2	5		16	11	22	54
五類感染症	アメーバ赤痢										1	4	5
	ウイルス性肝炎									1			1
	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症									5	1	4	10
	急性弛緩性麻痺									1			1
	急性脳炎									1	2	3	6
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症									4	3	7	14
	後天性免疫不全症候群											6	6
	侵襲性インフルエンザ菌感染症									1	3	2	6
	侵襲性肺炎球菌感染症	1					1	4		14	10	16	44
	水痘（入院例）							1	3			6	10
	梅毒							2	1	2	1	19	25
	播種性クリプトコックス症											1	1
	破傷風									1			1
	百日咳			1		1	2	2	5	79	66	101	253
	風しん								1			3	4
	麻疹									1	2	1	4
	定点疾病 (下段は定点当たりの患者数を示す)	インフルエンザ	136 19.43	189 37.80	246 18.92	139 19.86	580 36.25	1,290 26.88	1,754	1,461	3,940	2,200	5,994
RSウイルス感染症		1 0.25		2 0.25		3 0.30	6 0.21	48	83	340	128	516	1,115
咽頭結膜熱		1 0.25	7 2.33	12 1.50		3 0.30	23 0.79	199	30	268	51	222	770
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		5 1.25	2 0.67	85 10.63	7 1.75	97 9.70	196 6.76	135	143	1,049	286	1,546	3,159
感染性胃腸炎		40 10.00	34 11.33	85 10.63	34 8.50	214 21.40	407 14.03	1,362	1,089	1,814	624	4,121	9,010
水痘			1 0.33	4 0.50		12 1.20	17 0.59	26	24	63	22	305	440
手足口病		4 1.00	2 0.67	10 1.25		22 2.20	38 1.31	283	348	1,177	294	1,721	3,823
伝染性紅斑			3 1.00	6 0.75		14 1.40	23 0.79	131	95	527	129	761	1,643
突発性発しん		1 0.25	1 0.33	5 0.63	2 0.50	6 0.60	15 0.52	41	39	227	53	196	556
ヘルパンギーナ		2 0.50		1 0.13			3 0.10	165	133	411	138	296	1,143
流行性耳下腺炎						1 0.10	1 0.03	4	8	11	2	28	53
急性出血性結膜炎											13		13
流行性角結膜炎				3 1.50			3 0.43	1	10	41	31	11	94
細菌性髄膜炎										1		5	6
無菌性髄膜炎								2	1			1	4
マイコプラズマ肺炎								2	8	10	2	6	28
感染性胃腸炎（ロタウイルス）								1		8	7	2	18
インフルエンザによる入院患者（*）		3		4	2	3	12	17	1	9	14	22	63

本週報のデータは速報値であり、今後、調査などの結果に応じて若干の変更が生じることがあります。

*インフルエンザによる入院患者累計報告数は、令和元年第36週(9月2日)～の集計です。

インフルエンザ定点における患者診断状況

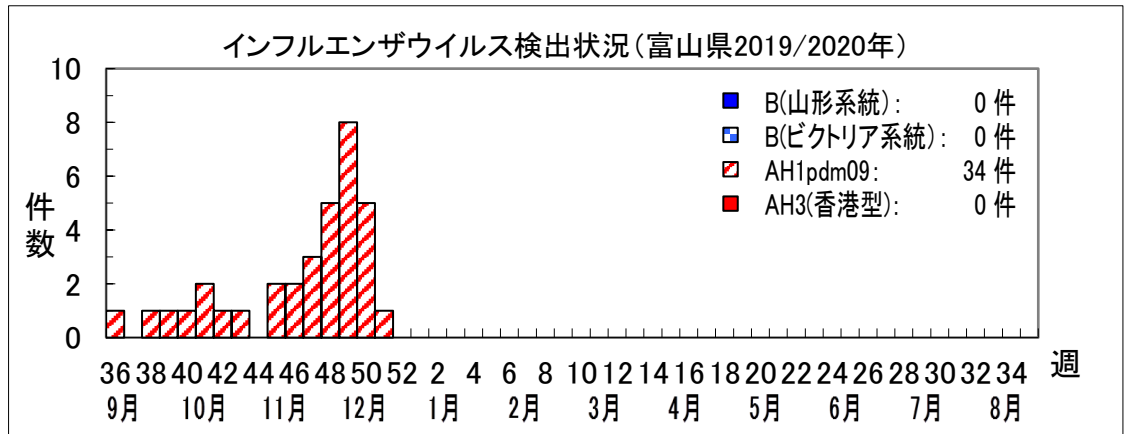
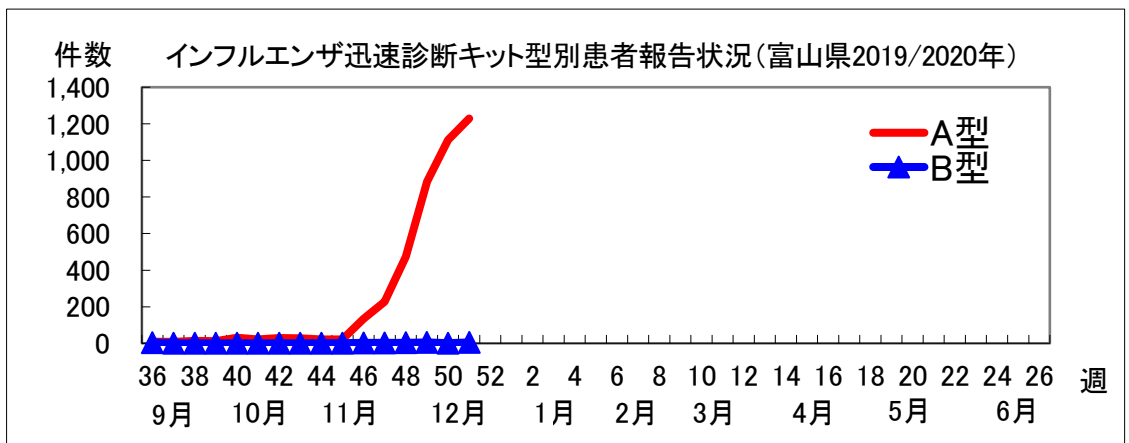
このデータは、インフルエンザ定点医療機関で実施されたインフルエンザ迅速診断キットの診断数を集計したものです。

現在、下の表によると、A型が95.3%となっています。

第51週(12/16~12/22)：富山県 26.88人/定点 (単位:件)

厚生センター・保健所名	報告数/定点数	迅速診断キット		その他 ^{※2}	合計
		A型	B型		
新川	6 / 7	121	0	15	136
中部	5 / 5	189	0	0	189
高岡	13 / 13	239	1	6	246
砺波	7 / 7	138	0	1	139
富山市	14 / 16	542	4	34	580
富山県	45 / 48 ^{※1}	1,229	5	56	1,290
富山県累計(2019年36週~)		4,254	25	186	4,465

※1 48の定点医療機関のうち、インフルエンザと診断した医療機関が45か所あったことを示します。
 ※2 「その他」には、臨床症状等によりインフルエンザと診断したが型別までは不明な患者や迅速診断キットの結果がA型とB型共に陽性の患者が対象となります。





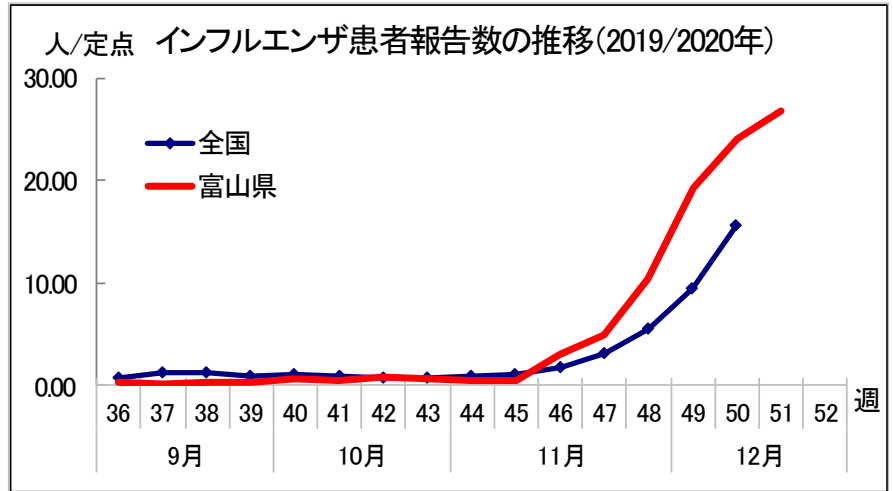
● 定点医療機関からのインフルエンザ患者報告状況

第51週 (12/16~12/22) : 富山県 26.88 人/定点

新川 HC (19.43)、中部 HC (37.80)、高岡 HC (18.92)、砺波 HC (19.86)、富山市 HC (36.25)

今週、県内のインフルエンザ報告数は 26.88 人となり、前週 (24.04) より増加しました。

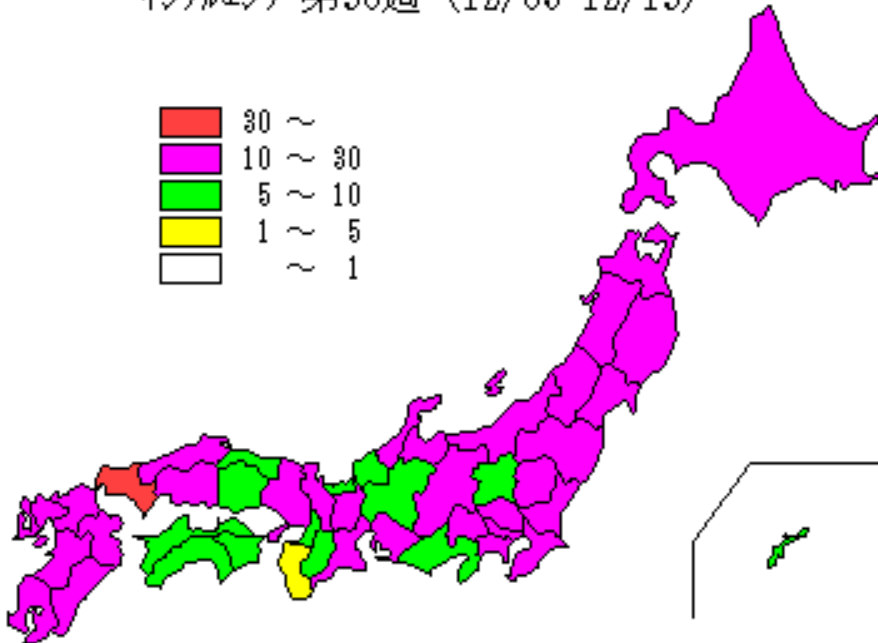
今後、しばらくは流行が継続すると予測されます。



● 都道府県別インフルエンザ患者報告状況 第50週 (12/9~12/15)

全国の患者報告数は、定点医療機関あたり 15.62 人となり、前週の 9.53 人より増加しました。47 都道府県すべてで前週より増加しています。

インフルエンザ第50週 (12/09-12/15)



都道府県	人/定点	都道府県	人/定点
北海道	29.76	滋賀県	15.37
青森県	24.14	京都府	12.34
岩手県	11.39	大阪府	8.31
宮城県	26.69	兵庫県	10.09
秋田県	16.30	奈良県	6.64
山形県	16.13	和歌山県	4.53
福島県	19.41	鳥取県	7.76
茨城県	14.96	島根県	16.82
栃木県	12.41	岡山県	8.15
群馬県	7.83	広島県	18.94
埼玉県	20.84	山口県	31.94
千葉県	16.61	徳島県	9.65
東京都	16.84	香川県	5.45
神奈川県	19.17	愛媛県	8.17
新潟県	19.09	高知県	5.35
富山県	24.04	福岡県	15.83
石川県	16.25	佐賀県	12.79
福井県	6.78	長崎県	12.13
山梨県	10.71	熊本県	19.38
長野県	18.06	大分県	19.60
岐阜県	8.92	宮崎県	14.80
静岡県	9.28	鹿児島県	15.76
愛知県	16.53	沖縄県	5.71
三重県	13.11	全国	15.62